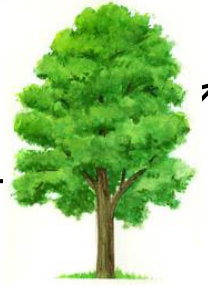




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年7月20日(水) No.6 文責 校長 島田 二郎



前期前半が終了しました

今日で前期前半が終了です。明日から夏休みとなります。次に学校が始まるのは、8月25日です。この4か月を振り返ると、やはり「コロナ禍」での行動制限が一番に挙げられます。時期によって様々な制限がありましたが、実施できた活動も多くありました。特に体育会は3年ぶりの開催となり、全校生徒が大いに盛り上がることができました。1年生の自然教室は、2泊3日で実施しました。3日間、活動することで、1年生はとても成長することができました。また、集会を伴う体験学習や講話、進路学習等もある程度、実施することができました。このようにコロナ禍ではありますが、子ども達はたくさん経験をし、たくさん学び、たくさん感動し、成長することができた4か月でした。生徒会スローガンにかけて例えると『満開の笑顔の向日葵の花がたくさん咲いた』と言えます。

前期前半を終えますが、まずは充実した学校生活であったと言えます。



改めて考える学校の良さ

ここで「学校の良さは何か？」を改めて考えてみたいと思います。学校には大勢の人がおり、大勢で共に過ごすことで、様々な価値観を知ることができます。また、『友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする』という有名な言葉のとおり、行事や体験学習において、皆で一緒に体験することで、感動が2倍にも3倍にもなります。それらが中学校時代の良き思い出となっていきます。逆に嫌なことは友達に相談すると半減します。学習面では、1人で勉強すると、自分だけの思考となり、なかなか考えが広がったり深まったりしません。しかし、多くの人と勉強すると、様々な考えに触れ、そこからさらに自分の思考を広げたり深めたりすることができます。そうして、勉強をより理解し、技能を習得していきます。学校の良さはまさしく「友達の存在」です。友達の存在によって、学校生活はさらに充実したものとなります。

そこで、さらに考えたいことは、「集団の質を高める」ことです。友達の存在が(+)にはたらくのであれば、集団の質を高めることで、さらに学校生活は充実したものになるはずで。生徒会が毎月提案してくれる取組こそ、集団の質を高めることにつながります。学校の取組も集団を伸ばすためのものが多々あります。

充実した前期前半でしたが、まだまだできることがたくさんあります。もっと花を咲かせることができます。前期後半から、さらに満開の花を咲かせる集団になるよう、皆で力を発揮していきましょう。

生徒・保護者の皆さんへのお願い

35日の長い夏休みが始まります。健康に過ごし、毎日を充実させましょう。そして、8月25日には、笑顔で元気に登校しましょう。皆さんの健康が一番大事です。25日は、朝起きた時から「今日から学校だ！皆に会うのが楽しみだ！」という言持ちをもって学校に来てくれたら嬉しいです。25日の朝を楽しみにしています。

そのためにも夏休みを健康に過ごせるようにしましょう。

